

カンボジアスタディツアー を通しての学び

D224003 鹿嶋ことみ



目次

- スタディツアーの概要
- PTECでのフィールドトリップについて
- BTECでの小学校手洗い指導について
- ツアーを通して得た学び
 - ①ゆとりも時には大切
 - ②多様な背景に寄り添える養護教諭になりたい
- 最後に

スタディツアーの概要

日程 2024.3.2~3.10

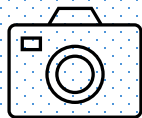
主なスケジュール

時差は2時間！

3.2	10:35羽田発 19:35プノンペン着
3.3	トゥールスレン虐殺博物館
3.4	SHCCオフィスで保健指導の準備
3.5	PTECの学生とフィールドトリップ
3.6	バタンバンへ移動 BTECの学生と保健指導の準備
3.7	小学校での保健指導 コウモリの洞窟
3.8	シェムリアップへ サーカス鑑賞
3.9	アンコールワット パブストリート観光
3.10	9:50シェムリアップ発 22:30羽田着



写真で振り返り



Day 1



タイ スワンナプーム国際空港



機内食

マンゴージュース



Day 2

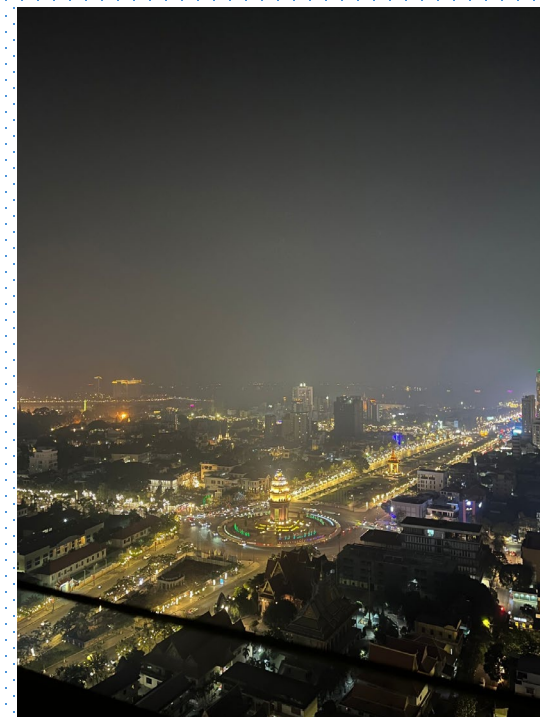
プノンペンの宿での朝ごはん

📍 プノンペン



Day 3

オフィスでの作業の様子



Day5

プルメリアの花



コウモリの洞窟



バタンバンの宿

ココナッツジュース

Day6

📍バタンバン

クイティウ



サーカス鑑賞



ジェラート

Day7



📍 シェムリアップ

アンコールワット



壁には
様々な彫刻



地鶏と蛙



Day 8



パブストリート



PTECでのフィールドトリップについて

- ・ 3月5日（4日目）PTEC（プノンペン教員養成大学）の学生と交流
内容 大学紹介・フィールドトリップ



大学紹介の様子

保健室の様子



日本国旗のシール
がたくさん貼って
あった



使っていないものもいくつかあった

フィールドトリップ（プノンペン市内を観光）の様子

訪れた場所

ワットプノン・国立博物館・セントラルマーケット・王宮



PTECでの交流を通して感じたこと

- ・おもてなしのあたたかさ
→「暑くない?」「荷物気をつけてね」「写真撮るよ」など
様々な場面で気をつかってくれた
- ・英語のレベルが平均的に高い
→基本、みんな英語で日常会話ができる
- ・自分の国の文化に詳しい
→どこを訪れたときも、展示物やその建物の情報についてた
くさん教えてくれた
- ・自由な空気感
→あまり時間に焦らない国民性?日本だと規律を厳密に守ろ
うとする人が多い

言葉が完璧にわからなくても、笑顔を交わせば
あたたかな時間を一緒に過ごすことができる!!



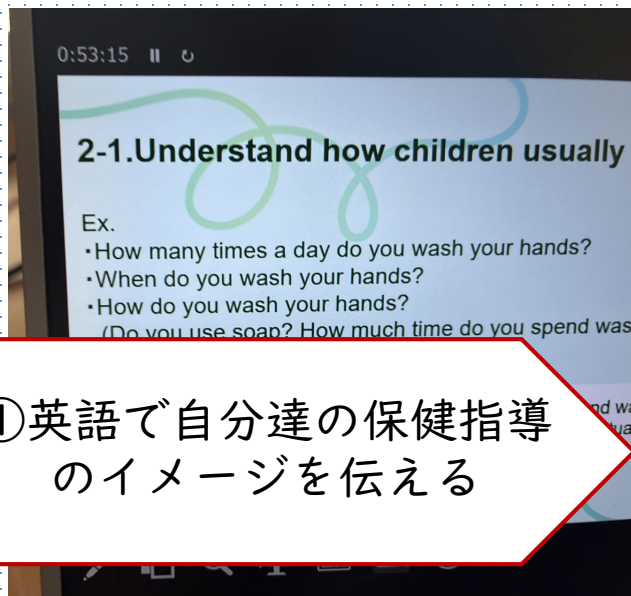
BTECでの小学校手洗い指導について

・ 3月6日（5日目）BTEC（バットンバン教員養成大学）の学生と交流
内容 大学紹介・授業準備

・ 3月7日（6日目）

内容 現地の小学校にて手洗い指導・ダンス交流会・ランチ

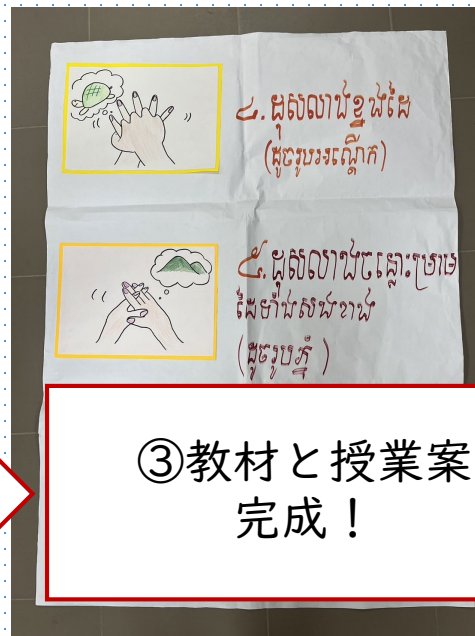
授業準備の様子



①英語で自分達の保健指導のイメージを伝える



②英語とジェスチャーを使って話し合い



③教材と授業案完成！



保健指導の様子



- 主な内容
 - 1 手洗いに関する質問をする
 - 2 手を洗う必要性を伝える
 - 3 イラストを見せながら正しい手洗いの手順を説明
 - 4 実際に手を洗いに行く
- 指導を実施したクラス
1年生2クラス 5年生1クラス

ランチの様子



ダンスの様子



BTECでの交流を通して感じたこと

- ・カンボジアでも子どもを教育的にみる観点は似ている
→授業準備の中で、「最初に質問して惹き付けようよ！」
というようなアドバイス
- ・意思疎通ができたときの喜び
→最初は、小学校で保健指導を一緒にすることがBTEC
の学生に伝わっていなかった
→なかなか準備する流れにならない…
→伝え方を工夫しながら試行錯誤した結果、意思が伝わった
→学生が協力的になり、みんなで準備をすることができた



・柔軟に対応すること、とりあえずやってみることの大切さ

→不透明なことも多い。失敗を恐れすぎず挑戦してみる！

・保健指導の意義

→子どもたちが楽しみながら正しい手洗いを実践している様子が見られた！伝えることの大切さを実感

教員養成大学同士としての交流ができた

ツアー全体を通して得た学び

①ゆとりも時には大切

②多様な背景に寄り添える養護教諭になりたい

ツアー全体を通して得た学び

①ゆとりも時には大切

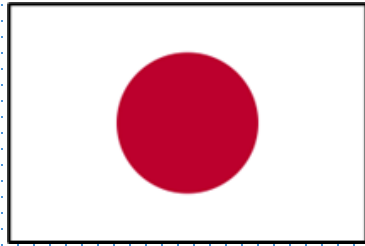
②多様な背景に寄り添える養護教諭になりたい

①ゆとりも時には大切

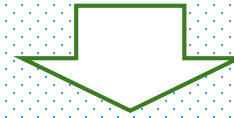


- ・時間を厳密に気にしない
- ・仕事中に携帯を触っていたり、ラフに働いている印象
- ・美術品の展示が日本に比べると雑
- ・マーケットや屋台などでは、衛生管理があまり徹底されていない
- ・自分の感情に素直でみんな明るい

日本人の勤勉さと
規制の多さを感じた



日本人の勤勉性や規制の多さは、
安全なサービスの安定した提供や治安の良さに影響している！



しかし… **生きづらさ**にもつながっているのではないか？

失敗を恐れすぎる

子どもも大人も
忙しすぎる

多様性が理解されにくい

ストレスを感じやすい

人の目を気にしすぎる

「なるようになる！」 「そういう人もいる！」 「いろんな生き方があっていい！」

心にほんの少しの「ゆとり（寛容さ）」を取り入れるだけで、生きやすくなる人が増える

ツアー全体を通して得た学び

①ゆとりも時には大切

②多様な背景に寄り添える養護教諭になりたい

ツアー全体を通して得た学び

①ゆとりも時には大切

②多様な背景に寄り添える養護教諭になりたい

②多様な背景に寄り添える養護教諭になりたい

カンボジアに行く前の私の悩み

最近、自分の価値観と合っていない人のことを簡単に否定したりしている場面に出会うことが多いな…
それでいいのかな～



スタディツアーにて

コミュニケーション
って楽しい!

知らないことが多いからこそ、
普段よりも意識的にコミュニケーションをとった



スタディツアーを終えて

カンボジアでは、背景の違いが分かりやすかった
→日本の中でも、人それぞれ生まれ育った環境、出会った人は違う！

違って当たり前！

「相手のことを知ろうとする姿勢」や
「コミュニケーションを純粹に楽しむ姿勢」
を心がけてみたらいい人間関係が築けそう



養護観に取り入れて考える

自分の価値観だけに当てはめて子どもを見ることは危険…

* 養護教諭の特徴
他の教員とは少し異なる角度から
子どもたちに関われる

* 養護教諭に求められること
① 養護教諭自身が多様性への理解を深める
② 子ども一人ひとりをみる必要性を学校全体に発信する役割がある

目指す養護教諭像

「 様々な場面での関わりを通して、
十人十色である子どもたちの健康や幸せの形を
一緒に見つけていけられる養護教諭
」

最後に



カンボジアに行って、たくさんの人と関わり、
いろんなワクワクに出会い、刺激的で充実した9日
間になりました！！

自分のことも周りのことも、日本を飛び出してみ
ることで客観的に考えることができたと思います

「やりたいと思ったらやってみる！」
をこれからも大切にして、様々な経験を
重ねていきたいです

ご清聴ありがとうございました